

第4回 氷川参道歩行者専用化検討協議会 議事要旨

1. 開催概要

日時	平成27年12月22日(火) 10時00分～12時00分
場所	大宮区役所南館301会議室
出席者	<p>【学識】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・埼玉大学 理工学研究科 教授 久保田 尚 ・埼玉大学 理工学研究科 助教 小嶋 文 <p>【交通管理者】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・埼玉県警察本部 交通規制課 課長 新井 文夫 (代理出席 課長補佐 佐々木 一郎) ・大宮警察署 交通課 課長 矢口 順一 (代理出席 交通規制係長 北道 明) <p>【道路管理者】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・さいたま市 建設局 北部建設事務所 所長 染谷 純孝 (代理出席 次長 島村 親文) <p>【沿線自治会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・吉敷町1丁目自治会 会長 橋本 昭司 (代理出席 副会長 関口 彰一) ・吉敷町3丁目自治会 会長 横山 好之 ・吉敷町4丁目自治会 会長 大澤 規郎 ・浅間町1丁目自治会 会長 秋山 悦男 ・浅間町2丁目自治会 会長 矢内 桂一郎 ・大門町3丁目自治会 会長 逸見 裕一 ・東町1丁目自治会 会長 澤田 好雄 ・下町明美会 会長 岡村 保 <p>【協議会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・氷川の杜まちづくり協議会 会長 小峯 政昭 ・ " 副会長 山田 とも子
配布資料	<ul style="list-style-type: none"> ・議事次第、席次表、委員名簿 ・資料1 氷川参道周辺実態調査結果について ・資料2 交通シミュレーションの進め方(案)について ・資料3 今後のスケジュールについて ・参考資料1 第3回 氷川参道歩行者専用化検討協議会 議事要旨



2. 議題

(1) 資料1 氷川参道周辺実態調査結果について(交通実態調査結果)	
発言者	内容
事務局	～資料1 交通実態調査結果の説明～
座長	・ P3の下図の断面①と断面②について、逆ではないのか。
事務局	・ ご指摘の通り、左側が断面②、右側が断面①となっております。
座長	・ 平成20年に比べ、自動車の交通量が若干増えているのか。
事務局	・ 断面②については、増えている。一方で、断面①の平日は微減となっている。 ・ 休日につきましては、断面①と断面②ともに、増えている。
座長	・ 歩行者が爆発的に増えている理由は、散歩等が増えているのか。
事務局	・ 近隣に商業施設が新たに整備されたことなどが考えられる。 ・ また、ランナーが増えている。この要因は、さいたまマラソンなどの普及により、練習する方が増えていることが要因と考えられる。
座長	・ P20の騒音振動については、70dBを越えていないということだが、幹線道路周辺と同じということか。
事務局	・ ご指摘の通りです。環境省のHPに掲載されている目安となっております。
座長	・ ほぼ幹線道路周辺と同じになってしまっているため、これを問題ないと言うべきか、幹線道路のようにしていると言うべきかということもある。 ・ 参道にしては、騒音が高いように思われる。
(2) 資料1 氷川参道周辺実態調査結果について(アンケート調査結果とまとめ)	
発言者	内容
事務局	～資料1 アンケート調査結果とまとめの説明～
座長	・ P30の沿道店舗への荷捌きに関する心配や車庫の出入りの話があるが、実態はどうなっているのか。 ・ 歩行者専用化となった場合、どの程度の件数が該当するのか。
事務局	・ 北区間は7件、中区間に面した車庫はない。ただし、現状では、参道側から2件ほど荷物の出し入れをしている箇所もある。また、南区間は5件となっている。 ・ 現状、中区間が荷捌きや車庫の出入りが一番少ない状況となっている。
委員	・ P32の中区間のその他の具体的な記述をみると、「参道側に駐車場がある場合はどうするのか」という回答がある。 ・ この方は、現状は駐車場がないが、新たに駐車場を作ろうとされているということか。
事務局	・ 今後、新たに作るものについては、神社の敷地(樹木帯)をまたぐことになるため、神社側としてもあまり良いとは言わない。また、市としても参道側に駐車場をつくらないように、沿道に働きかけたいと考えている。 ・ 現状、参道沿いに新たな施設が作られる予定はないため、問題ないと考えている。
委員	・ 荷捌きだけでなく、引っ越してきた場合に、参道に面していない施設へ入る2mくらいの道路を利用している現状がある。

	<ul style="list-style-type: none"> ・ その場合、引っ越しの車はどこから入れればよいのか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・ 引っ越し車両など、参道を通れるようにしなければいけないとは感じる。そのような意見を頂きながら、非常時に通行できるように、警察と話をしていきたいと考えている。 ・ ただし、常に許可というわけにはいかないため、許可の仕方についても、協議していかなければいけない。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 今のままで良いとする回答があるが、現在の通過交通が多い状況をわからずに答えている可能性がある。 ・ たとえば、参道に関係のない通過交通がどれくらい通行しているのかなどの認識がない。一方で、通過交通を許可するかという質問をした場合、大概の人が通過交通を良いとは思わない。 ・ 実際に、氷川参道を通る車両は、氷川参道に用事のある方々だと考えているのではないのか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・ ご指摘の点と同様に、車が横断できないのではないのかという話もある。また、「今のままが良い」という回答者の中には、自転車が通れなくなると考えて、反対している方もいる。 ・ まずは、今回の結果についても、沿道の方々へ周知・情報共有を図る必要がある。 ・ 今後、どのように止めていくのかという話についても、協議会で検討を進めるとともに、沿道の方々へ情報提供を図っていきたいと考えている。 ・ 今後、検討を重ねながら、再度アンケートを実施していきたいと考えている。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 少し視点をかえると、通過交通については多いと感じるが、一方で、氷川参道の間で、こんなにも車が抜けていくのかという印象である。 ・ 参道の間を抜けていく車がどうなっているのかをしっかりと整理する必要がある。 ・ また、アンケートの比較で倍率を使っている点、P24の沿道などの件数として少ないので、倍率で見ることが良いのか、実数としてこれだけあると考えるべきか検討する必要がある。 ・ 自転車について、交通量も多く、通行の要望や危険が多い点などもあるため、しっかりと検討していかなければいけない。
座長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 参道を利用する交通のうち、通過以外がどのような車両であるのかを把握しているのか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・ 参道を利用する交通のうち、通過以外がどのような車両なのか、今現在は分析が出来ていない状況である。通過車両は、駅へアクセスするのではなく、単に産業道路まで抜けている可能性も考えられる。 ・ 今回は、中央通りまで抜ける車両という視点で整理している。
座長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 調査当日と同様に、山丸公園ではイベントが多く開催されている。そのため、山丸公園を横断する車両が多く見受けられるのは、イベントの影響もあると考えられる。 ・ もう少し分析が必要と考えられる。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・ 沿道はサンプル数が少なくなってしまうため、沿道と沿道以外については、相対的に比較する分析となっている。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ P23～24の「排気ガスのおいがる」という点については、北区間のパーセントが高い理由はよくわかる。 ・ 中央通りの交番から一灯点滅式信号まで、お歳暮の時期などは渋滞が続くことが多くあり、その間に車両はエンジンをかけたままとなっている。 ・ また、南区間や中区間は通り抜けだが、北区間は中央通りの信号機があることにより渋滞するため、排気ガスのおいがるという点について

	は理解できる。
座 長	・ 自転車については、要望も問題も多いので、自転車の扱いがカギとなる点については、共通認識としたい。
事務局	・ 歩行者専用化は、まだ実施できるかどうかかわからないが、歩行者専用化が実施出来た暁には、その区間を対象に歩行者、自転車の分離や混在などのいくつかのパターンについて社会実験を行いながら、自転車通行場所の良い形を探る方法も考えられる。 ・ 一方で、自転車通行帯など矢羽を設置すると、スポーツタイプの自転車が走りやすくなり、速度超過となる可能性も気になる点である。 ・ いずれにしてもある区間を止めるか止めないかの議論を進めた中で、止めるとなった場合に、空間のあり方を考えていき、最終案を決定していきたい。 ・ 自転車に関する課題が多いことは共通認識としていただきたい。
座 長	・ 中山道にも最近矢羽がひかれているため、委員の方も見ていただき、氷川参道に同じような色合いのものがひかれるのが良いのかもご検討いただきたい。
委 員	・ 自動車・自転車の事故が多い中で、歩行者を優先するのならば、自転車を通すべきではないと思う。 ・ 暗いことが問題となっているが、現状、氷川参道の歩行空間側にのみ、街灯が設置されているためである。 ・ そのため、歩行者専用化した場合には、反対側へも街灯を設置してもらい、道路全体を歩行者が安心して歩けるようにして欲しいというのが、地元の要望である。
委 員	・ アンケートの結果の P29 の懸念事項について、P25 の意見別に整理できないか。 ・ 「今のままが良い」と回答している方の理由が明確になるのではないのか。
事務局	・ 追加分析を行い、次回の協議会にて報告する。
(3) 資料2 交通シミュレーションの進め方(案)について	
発言者	内容
事務局	～資料2 交通シミュレーションの進め方(案)の説明～
座 長	・ 中区間とは、どこからどこまでの区間なのか。南大通り東線から一灯点滅式信号交差点までということが良いか。 ・ また、東側の道とは、中央通りから一灯式信号までが一方通行で、一灯点滅式信号交差点の以南は相互通行になっているのか。 ・ また、一灯点滅式信号交差点から東側の道路までは相互通行になっているのか。 ・ 中区間を歩行者専用化した場合、南大通り東線から東側の細街路へ左折し、一灯点滅式信号交差点から、氷川参道へ流入する通過交通も発生するのではないのか。
事務局	・ 区間については、ご指摘の通りです。また、交通規制についても、一灯点滅式信号交差点から東側の道路の短い区間は相互通行になっています。
委 員	・ 北区間については、小学校の通学路であり、以前から危険と言われている地区であり、心配である。 ・ 一方で、中央通り北側の氷川参道から、中央通りの交番の東側の細街路へ流入する車両の通行は禁止されていたが、現在は通行する車両が多い

	状況であるので、心配である。
事務局	・中央通り交番の東側の細街路へ流入する交通量についても、ピーク時間帯の調査を実施したいと考えている。
座長	・シミュレーションで、氷川参道以外の細街路の交通規制についても、見直すということか。
事務局	・可能です。
座長	・中区間を通行止めにするステップ①についても、ステップ①-1やステップ①-2など、先ほどの一灯点滅式信号交差点から東側の道路間の交通規制を見直すことも含めて、細かなパターンがあると思うので、試みて欲しい。
事務局	・歩行者専用化に伴って、著しく混乱が起こらないようなパターンが出来るかどうかも含めて、今後検討し、次回提示する。
座長	・これから、交通シミュレーションを実施するにあたり、懸念事項等がありますでしょうか。
委員	・氷川緑道西通り線の開通を見据えて、東側道路の交通規制を見直す考えはあるのか。 ・現状のままの交通規制なのか。また、開通後に交通規制を変更する計画があるのか。
事務局	・氷川緑道西通り線の開通に伴う変更は考えていない。 ・ただし、通行止めを検討するなかで、東側道路も含めた見直しも視野に入れて、協議会で方針を決めて、警察と協議を進めたい。
委員	・確認だが、このシミュレーションは、氷川緑道西通線の完成や区役所の移転も考慮した交通シミュレーションを想定しているのか。
事務局	・氷川緑道西通り線の整備と区役所移転は考慮したシミュレーションとなっている。
委員	・氷川緑道西通線の開通後に、車の動きは大きく変わるのではないか。今現在、このシミュレーションを実施していても、だいぶ変わってくるのではないか
事務局	・あくまで想定となっているが、信号のタイミングや右折帯の作り方によっても、変わってくる。 ・ただし、想定範囲内でも、検討している内容ができるのか、またはできないのか把握する必要もある。また、想定でできないものについては、現実的に出来ないという結論も考えられる。
座長	・大きく変わった際には、再度考えていく必要もあるが、今出来ることを進めて頂きたい。
委員	・シミュレーションの時期は、いつ頃を想定しているのか
事務局	・作業の進み具合にもよるが、1月下旬くらいまでにはシミュレーションを進め、可能ならば、一度、委員の方々に意見をいただきたいと考えている。 ・次回の会議を3月9日(水)に予定しているため、2月上旬ごろに委員の皆様結果をお示しして、意見を頂いた上で、次回の会議に臨みたいと考えている。
委員	・車両通行止めを行うことについては、問題ないが、車両の迂回路については、シミュレーションではなく、事前に想定しておく必要がある。委員としても、わざわざ交通事故を引き起こす対策を取るわけにはいかない。 ・区役所がいつできるかわからないが、氷川緑道西通線が開通できてから、

	<p>車両通行止めを実施するのは良い。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ただし、整備ができていない状況や交通渋滞が発生している状況で車両通行止めをする場合、市民生活へ与える影響は大きいと、多少の我慢をしてもらえらる範囲の迂回路の有無を確認する必要がある。 ・その点、十分に科学的な調査のもとに、苦情が来ても十分に説明できるように慎重に対応をする必要がある。
座長	<ul style="list-style-type: none"> ・前提として、歩行者専用化するのは氷川緑道西通線ができた後ということによいか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・氷川緑道西通線の開通と同時に車両通行止めを実施することを想定している。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・氷川緑道西通線は、いつ整備されるのか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・氷川緑道西通線については、区役所移転に伴うため、平成30年度末を予定している。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・シミュレーションは、3年後に実施するのか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・シミュレーションについては、本年10月に調査を実施しているため、そのデータを用い今年度行う予定である。 ・また、シミュレーションを今年度実施し、今後3年間で、さまざまな方策を検討していく予定である。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度、机上でシミュレーションを実施するのであれば、問題ない。
座長	<ul style="list-style-type: none"> ・いろんな地区の方が、著しく不便になっていないかのチェックは必要である。 ・チェックに合わせて、交通規制を変更するなど検討して行く必要がある。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・いずれ実際に車両通行止めを実施してみるということも想定される。
座長	<ul style="list-style-type: none"> ・今後の進め方として、中区間を軸に考えることで良いか
-	～委員了承～
(4) 資料3 今後のスケジュールについて	
発言者	内容
事務局	～資料4 今後のスケジュールについて～
-	・質疑、意見なし

以上